



NP Oイムノサポートセンターは札幌市中央卸売市場、卸売業者4社と連携し、北大、藤女子大学、札幌医科大学、天候大などの産学官連携ネットワークの中核として科学的アプローチの会議を立ち上げることになった。卸売業者が大学や市と産学官連携を構築して科学的アプローチを推進する試みは全国的にも初めてのケースで、今回は、これが、道民の食育啓発活動や中央卸売市場を舞台とした食育ツアー推進とどのように結びつくかを紹介する。

〈体内環境の改善を目指した子供の食育は実は親育にある〉

最近新聞紙上で、「札幌ではしかやノロウイルス罹患率が過去最高、あるいは「小学生のアレルギー性鼻炎などの鼻の病気が急増」など、これまで本誌上で筆者が述べてきた「子供たちの免疫バランスに異変が起り、感染抵抗力が弱く、アレルギー体質の子供が増加してきている」という問題が社会的にも年々大きくクローズアップされるようになってきたような気がする。また、感染症の罹患率とアレルギーの増加が同じ舞台で考えられる問題であることに気づいていないようであるが、ゴアによってクローズアップされてきた環境破壊問題と同様、体内環境の問題もそろそろあちらこちらで問題視

され始めてきている。先日、日本免疫学会の国際シンポジウムに招待された米国とベルギー人の講演者に「あなたたちの国でもアレルギーは増加してきているのか？」と欧米の現状を訪ねたところ、「確かに、深刻な問題です」という答えが返ってきた。

「あなたたちの国でもアレルギーは増加してきているのか？」と欧米の現状を訪ねたところ、「確かに、深刻な問題です」という答えが返ってきた。すなわち、やはり、免疫バランスの破綻によるアレルギーの増加は先進国における問題で、発展途上国には当てはまらないようである。また、体内環境の異変は生まれつき決まっている遺伝的なものではなく日常の生活環境に依存的なことも確かであろうである。

北海道の「健康を考える観光」拠点づくりを目指したイムノリゾート構想

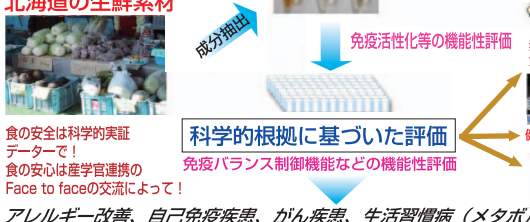
新しい札幌ヘルスツーリズムの提唱 中央卸売市場を舞台にした食育と免疫体験ツアー

西村 孝司



機のないで出会ったインド人に「本当に君の国ではアレルギーがないのか？」と尋ねたところ、「インドでは問題になっていない、しかし、私の兄弟3人はアメリカに留学したが、そのうち2人はアレル

科学的アプローチ会議の設立 —北海道生鮮食材への科学的付加価値—



体内環境の破綻によって起こった病気が投薬などによる治療によって直すしかない。しかし、体内環境の破綻が起らないようにするにはどうしたらいいのか？それは、日常のライフスタイルイノベーションしかない。イノベーション(改革、革新)という言葉は何か新しいものを構築しなければいけないというイメージがあるが、そうではない。我々の祖父母が教えてくれた「腹八分目の自然と調和した生活」を思い出し、今の子供

〈中央卸売市場を舞台にした



阿寒湖水上フェスティバル ICE・愛す・阿寒 “冬華美”

地域の取組 事業イ

中央卸売市場は言うまでもなく道産生鮮食材が集まる台所であり、そこを舞台にして食育への共同事業を展開する予定である。NP Oイムノサポートセンターが仲介して、4卸売業者から提供される生

鮮食材の免疫バランスやメタボ対策に有用な機能性などを北大、札幌医科大学などの大学関連機関で研究してもらい、道産生鮮食材が健康に良いことを科学的に実証し、付加価値をつける「野菜・果物やお魚の免疫力お知らせ事業」が第一の目的である。また、リニューアルされた中央卸売市場には野菜や魚などの食材を揃えた見学コーナーがあることから、本誌9月号で報じたサッポロさんとらんとでの「親子食育と免疫の体験学習事業」を市場を舞台にして展開することが第2の目的である。

地域観光集中キャンペーン

集中的にキャンペーンを行う地域観光集中キャンペーンを行ってききました。今年度は道東地域を中心とした各層に「ひがし北海道・冬の7大祭り」を浸透させ、ブランド化を図るとともに、今回初めて開催する「ひがし北海道・冬の7大祭り・プレミアムウィーク」を契機にし、観光客の誘致促進をめぐすことを目的に、12月24日から翌年3月31日までのキャンペーン期間、様々な取り組みを行います。具体的には、ひがし北海道の宿に宿泊し、スタンプを集めることや抽選で200名様に宿泊券や特産品があるスタンプラリー「いい宿100泊、いい100品プレゼント」キャンペーンを行うほか、「ひがし北海道冬の7大祭り・プレミアムウィーク」と題し、ダイヤモンドダスト in KAWAYU、おとふけ十勝川白鳥まつり彩凜詩、北の新大陸発見！あつたか網走、阿寒湖水上フェステ

「ひがし北海道・冬の7大祭り・プレミアムウィーク」を組込んだツアーを造成し、道内外からの集客を図ります。このように、多彩な内容で、冬のひがし北海道への観光客誘致を図るとともに、夏季シーズンへのリビート層の獲得を今回の最終的な目標としています。キャンペーンの詳細は <http://www.cashokkai.do.com> にて紹介しております。

て、札幌市民はもろもろ道民全体に食事バランスや健康に良いメニューの免疫力増強やメタボなどの生活習慣病予防における意味を啓発教育できる。さらに「食育と免疫体験ツアー」などを中央卸売市場を舞台にして企画できる。事実、全国旅行業協会と北海道旅行業協会が来年3月に札幌に1週間の滞在をさせるスギ花粉疎開ツアーの中で、北大、中央卸売市場を舞台にした、すぎ花粉症対策検診ツアーや食育と免疫体験ツアーを計画している。

2008 北海道観光カレンダー

当連盟では「2008北海道観光カレンダー」を製作、送料税込一部千円で販売しております。道内で開催されるイベントや風景のカラー写真を使用した、A2版の月めくりカレンダーです。ご希望の方は電話、郵便などでご注文いただき、切手・現金

観光のお問い合わせは

■北海道観光連盟 札幌市中央区北3条西7丁目1番地 緑苑ビル2階
TEL (011) 231-0941 FAX 232-5064

●北海道さっぽろ「食と観光」情報館
札幌市北区北6条西4丁目JR札幌駅1階西通り北口
TEL (011) 213-5088 FAX 213-5089

■北海道経済部観光のくまづくり推進局 札幌市中央区北3条西6丁目 道庁8階
TEL (011) 231-4111 (代) FAX 232-4120

011-231-0941
会員の購読料は会費に含まれています